

2011 年度 入学 試験 問題

世界史 B

(試験時間 13:25~14:25 60分)

1. この問題は、入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙のみです。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。なお、解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。

I 以下の文章を読んで、設問に答えなさい。(20点)

「ヨーロッパのすべての宮廷で、貴族層の権力は、手作業と商業の改良という共通^①の原因によって減退した。人が自分の財産を家庭の奢侈しやしに消費しうるようになったときには、かれはその従者たちを解雇しなければならなかった。人びとの昔の素朴なもてなしによれば、現在ひとりの領主を一晩とめるよりも容易に、千人の従者を維持することができた。…主権者もまた、手作業と商業の改良によってその権威を失ったはずだと、期待されたかもしれないが、すこし注意すれば、われわれは、事実がまったく逆であったにちがいないことを、確信させられるだろう。100ポンド以上を消費できるものがほかには誰もいないのに、一年に4万ポンド以上をもっている人が、奢侈の増大に影響されるということとはありえない。これがまさしく、国王のばあいである。…それだから奢侈は、領地が国王のそれにくらべて小さい貴族層の権威を低下させるにちがいない。しかも国王の領地は影響を受けないままなので、その権力は絶対的になるにちがいない。これはヨーロッパのたいていの国民のばあいではあったが、ドイツでは、まったくちがっていた。そこでは君主政治は選挙制^②だったから、そのためにけっしてひじょうに大きな権威をもつことはできなかった。その国^③は、ヨーロッパのどの国よりも、ずっと大きいし、すでにかんりの財産をもっていた貴族層は、封建政府の解体にさいして、ほかのものにくらべて、多くを得た。…ドイツではこのようにして貴族層の権力は維持された^④が、それに反してイングランドでは、それはまったく破壊され、国王が絶対的になった^⑤のである」〔以上は、アダム＝スミス著、水田洋訳『法学講義』(岩波文庫)からの抜粋である〕。

(注)「主権者」とは、「最高権力者」という意味である。

問1 下線部①について、羅針盤の改良・快速帆船の普及・商業革命・価格革命・貨幣地代の語を用いて、減退の理由を120字以内で説明しなさい。

問2 下線部②について、その選挙人はなんと呼ばれていたか。

問3 下線部③について、1806年、ナポレオンによる中央ヨーロッパ再編の結果として滅亡したこの国は、なんと呼ばれていたか。

問4 下線部④について、それは大諸侯の領地という形式をとったが、その領地はなんと呼ばれていたか。

問5 下線部⑤について、この強力な国王統治体制（絶対王政）は、イギリスのほかに、フランスやスペインなどにも誕生した。（1）イギリスと（2）フランスでこの絶対王政を確立した王朝を、次のア～カの中からそれぞれ1つ選びなさい。

ア. ヴァロワ朝

イ. ヨーク朝

ウ. ブルボン朝

エ. ステュアート朝

オ. カペー朝

カ. テューダー朝

II 以下の文章を読んで、A～Oに最も適切な語句を入れなさい。(30点)

1848年、(A)との戦争に勝利してカリフォルニアを獲得し、その領土が太平洋岸に達したアメリカは、西部地域の発展を促進した。そして、この西部地域の発展は国内に新たな需要を創出したために、南部地域と北部地域の経済的利害の対立を激化させた。すなわち、南部地域はこれまでも、黒人奴隷を使役した大農園(プランテーション)で綿花などの輸出生産物を栽培して外貨を手に入れていたので、母国イギリスとの結びつきが強かった。そのために南部地域は、奴隷制の存続と貿易政策として(B)を、さらには統治システムとしては各州の自治(州権主義)を主張していた。これに対して北部地域は、商品作物の栽培に適さない土地だったこともあって工業化を進め、南部地域を自分たちの工業製品の重要な市場としていた。しかし、西部地域の発展は、工業製品の市場としての南部地域の比重を低下させ、イギリスの工業製品に対抗する意味もあって、北部地域は貿易政策としては(C)、統治システムとしては(D)を主張する一方で、人道主義の立場から奴隷制に反対する声が強かった。1860年、共和党から奴隷制の拡大に反対するリンカンが大統領選挙に出馬して当選した。しかし、これに反発した南部地域が連邦から離脱して1861年に(E)を結成したために、南北の対立は決定的になり、南北戦争がはじまった。

1851年の万国博覧会にはじまって1873年の大不況にいたるこの時期、イギリスでは、(F)を君主に戴いた「繁栄の時代」を迎えていた。それはすなわち、世界でいち早く産業革命をなしたイギリスが(G)として君臨するとともに、工業製品の輸出市場や原材料の供給地としてインドや中国などのアジアにも進出し、世界中にまたがる植民地帝国を確立した時期でもあった。また、この「繁栄の時代」には、1830年代の「改革の時代」からはじまった各種の改革が引き続き拡大されたが、その背景には、工業化と都市化の進展にともなう中流階級の増大があった。この時代を実現された重要な改革としては、1867年の第2回選挙法改正とその延長線上での1884年の第3回選挙法改正があげられるが、前者では(H)が、後者では(I)と鉱山労働者が選挙権を獲得した。

1848年の大統領選挙に勝利したナポレオン1世の甥にあたるルイ=ナポレオン=ボナパルトは、1851年にクーデタを起こして政治の独裁権を握り、翌52年には国民投票によって皇帝となって（ J ）と名のり第二帝政を成立させた。この第二帝政期にフランスでは鉄道建設が進展し、産業基盤が整備されることによって経済発展が促進された。しかし他方で、自由に対する規制の強化や議会軽視の政治運営といった政治手法に対する国民の不満も根強く、こうした不満を抑えるために彼は、対外戦争に勝利することによって皇帝の権威を維持しようとした。そうした狙いは確かに、クリミア戦争をはじめとしてアロー戦争・イタリア統一戦争・インドシナ出兵などでは効果があったが、しかし（ A ）遠征に失敗し、（ K ）戦争に敗れると、これを契機にパリで民衆の蜂起が起り、1870年に第二帝政は崩壊した。このとき蜂起した民衆によって樹立された革命的な自治政府は、（ L ）と呼ばれた。

1814～15年のウィーン会議でオーストリア・プロイセンのほかに35の君主国と4つの自由都市からなる（ M ）が創設されたが、この体制のもとでもドイツの政治的な分裂状態は続いていた。そうした状況の中で1834年、プロイセンの主導のもとに、オーストリアをのぞく大多数のドイツの君主国や自由都市が参加する（ N ）が結成され、ドイツの経済的な統一がほぼ実現されることになった。これに対して政治的な統一への歩みは、プロイセンの首相ビスマルクが議会の反対を押し切って軍備の拡張を進め、1866年のプロイセン=オーストリア戦争に勝利することによって（ M ）を解体することからはじまる。オーストリアを排除することに成功したビスマルクは、ついで1871年、プロイセンの国王（ O ）を皇帝に推し彼は帝位についた。こうしてドイツ帝国が成立し、ドイツの政治的な統一は実現されることになったのである。

III 以下の文章を読んで、設問に答えなさい。(30点)

インド=ヨーロッパ語系のアーリヤ人は、紀元前1500年ころ中央アジアからインダス川流域のインド西北部へ移住し、紀元前1000年ころになるとガンジス川流域のインド北東部に進出する。彼等はドラヴィダ系等の先住民を征服する過程で、元来は色を意味しアーリヤ人と先住民の肌の色の違いに由来する、(A)と称される身分秩序を形成していった。これは人々を、複雑な祭式に通じた司祭である(B)を頂点に、武士階級のクシャトリヤ、農民・牧畜民等の(C)、そして主に先住民から成る隷属民の(D)という4つの身分、すなわち(A)に分けるもので、さらに枠外の被差別民も存在した。なお、後に(C)は商人を、(D)は農民・牧畜民等を指すようになる。

紀元前6世紀ころになると、前世の行為(業)が現世の(A)を決定するという輪廻転生の思想が、この身分制度を強固なものにする一方で、輪廻転生から解脱する方法も模索され始めた。(B)の権威の源泉ともなっていた祭式至上主義から転換して、宇宙の根本原理であるブラフマンと自己の根本原理アトマンの一致(梵我一如)を説く(E)哲学は、その一例である。また、シャカ族の王子ガウタマ=シッダールタの思想は、(B)の支配する世襲的な身分秩序としての(A)制を否定し、人は正しい認識と正しい実践に努め煩惱を捨て去れば解脱できると説いた。やがて彼の思想は仏教となり、(F)王が創始したマウリヤ朝の最盛期を築いたアショーカ王は、仏教に帰依しダルマ(法)による統治を掲げ、仏典の編集や各地への布教に努めた。紀元後1世紀に西北インドに成立した(G)朝の最盛期を現出した(H)王も、仏教を保護したと伝えられるが、この頃には仏教の中から大乘と称する新しい運動が起こっている。

しかし、インド社会から身分秩序が消滅することはなかった。4世紀に成立し北インド全域を支配することになった(I)朝以後、いずれかの(A)に属し世襲的に固定された、(J)と呼ばれる職業集団(ポルトガル語で家柄・血統を意味する「カスタ」に由来する、「カースト」の語で今日では知られる)が出現し、(A)制と結びついて複雑な階層構造を形作っていったのである。

問1 A～Jに最も適切な語句を入れなさい。

問2 下線部について、この大乘と呼ばれる新しい仏教がどのようなものか、80字以内で説明しなさい。

IV 以下の文章を読んで、設問に答えなさい。(20点)

(A) 省出身で客家と呼ばれる方言集団に属する (B) は、イエス=キリストの弟を自称して上帝会を組織した。(A) 省からの移住者が多い広西省では、先に同地へ移住していた他の方言集団が土地を占有しており、多くの客家は土地を持たず貧困な境遇にあった。このような客家の人々を (B) は上帝会へ吸収し、1851年に挙兵して太平天国を建てる。1853年に太平天国軍は南京を占領し天京と名づけて首都を置いたが、その翌年までに発布されたと思われる (C) 制度は、男女を問わず土地を均分することを定めたもので、そこには先に述べた客家の境遇が反映されている。

やはり (A) 省出身で少年時代に (B) の故事を聞いて育った (D) は、長じて清朝の転覆を図る革命運動に携わるようになる。(D) の主張は、「民族・民権・(E)」の三民主義(初期には三大主義)と総称され、当初、民族主義は満州王朝の打倒、民権主義は共和国の樹立、(E) 主義は地権の平均を意味した。地権の平均とは、都市の地価上昇分を国有に帰すべきだという主張で、直接にはアメリカ人社会改革論者ヘンリー=ジョージの地代単税論に基づいているが、(D) は農村の土地に関しても公有化を提起しており、貧農家庭に生まれ育った自身の背景や、(C) 制度の影響も無視することはできない。1910年代後半から (A) 省で断続的に独自の政権を建てていた (D) は、1920年代に入ると次第に中国共産党と提携するようになり、(E) 主義の新たな内容として「耕す者が田畑を持つ」べきことを唱え、農民運動への支援を開始した。

1949年の中華人民共和国成立と相前後して、中国共産党政権は地主・富農の土地を没収して分配する土地改革を進めたが、結果として農家1戸当たりの経営規模が零細化し、1953年には第1次五か年計画により農業の集団化に着手する。1958年に始まる第2次五か年計画の時期には、(F) と称される大衆動員を通じた増産運動の下で、行政・生産単位であるとともに学校や民兵組織をも備えた (G) へと、全国のほとんどの農家が組織された。しかし、(F) による急激な変革と過度の平均主義は生産効率・意欲の低下を招き、1959~61年に数千万人とも言われる餓死者を生み出す。やがて1970年代末になると中国共産党政権は、最高実力者となった

(H) の指導下で改革・開放政策を採用し、その後 (G) の解体が進められた。
②

問1 Aに当てはまる地名を、次のア～オの中から1つ選びなさい。

ア. 山東 イ. 江蘇 ウ. 浙江 エ. 福建 オ. 広東

問2 B・D・Hに当てはまる人名を、漢字で答えなさい。

問3 C・E・F・Gに最も適切な語句を入れなさい。

問4 下線部①について正しくないものを、次のア～オの中から1つ選びなさい。

- ア. 成立当初から外国勢力の干渉を拒み、自主独立路線を貫いていた。
- イ. 初期の指導者となった陳独秀は、雑誌『新青年』の創刊者である。
- ウ. 第1次国共合作時期には、党員が個人の資格で国民党に加入した。
- エ. 1927年に発生した上海クーデタで、蒋介石によって弾圧された。
- オ. 1931年に江西省で、中華ソヴィエト共和国臨時政府を樹立した。

問5 下線部②について正しいものを、次のア～オの中から1つ選びなさい。

- ア. 毛沢東や周恩来も、この政策を支持した。
- イ. 農業・工業・商業・教育の、「四つの現代化 (近代化)」が推進された。
- ウ. 農業生産の請負制が拡大したが、農村企業の設立は禁じられた。
- エ. 中国の国際的地位の向上を背景に、マカオの返還が実現した。
- オ. 天安門事件を機に終焉し、この政策が再び採用されることはなかった。